

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【公開番号】特開2006-267535(P2006-267535A)

【公開日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【年通号数】公開・登録公報2006-039

【出願番号】特願2005-85410(P2005-85410)

【国際特許分類】

G 10 H 1/00 (2006.01)

【F I】

G 10 H 1/00 102Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月12日(2008.11.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

メモリ装置に記憶されていて楽曲を構成する楽音を再生させるための自動演奏データを楽曲の進行に従って読み出す読み出し手段と、

再生楽音の要素の変更態様を表すプレイエフェクトデータを用いて、前記読み出された自動演奏データを要素の変更された楽音を再生するための演奏データに変換する変換手段と、

前記変換手段によって変換された演奏データに応じて楽音を再生する再生手段と、

演奏操作子の操作を表す演奏データを入力する演奏データ入力手段と、

前記演奏データ入力手段によって入力された演奏データに対し、前記プレイエフェクトデータを用いて、前記再生楽音の要素変更のために変換された演奏データを変換前の演奏データに戻すための逆変換処理を実行する逆変換手段と、

前記逆変換手段によって逆変換された演奏データを楽曲の進行に従ってメモリ装置に書き込む演奏データ書き込み手段と

を備えたことを特徴とする電子音楽装置。

【請求項2】

前記プレイエフェクトデータは、メモリ装置に楽曲に進行に従って予め記憶されているか、またはユーザによって楽曲の進行に従って入力されたものである請求項1に記載の電子音楽装置。

【請求項3】

請求項1または2に記載した電子音楽装置において、さらに、

前記プレイエフェクトデータを楽曲の進行に従ってメモリ装置に書き込むプレイエフェクトデータ書き込み手段を備え、

前記メモリ装置に書き込まれる演奏データおよびプレイエフェクトデータはそれぞれ異なる領域に書き込まれる電子音楽装置。

【請求項4】

コンピュータに、

メモリ装置に記憶されていて楽曲を構成する楽音を再生させるための自動演奏データを楽曲の進行に従って読み出す読み出しつと、

再生楽音の要素の変更態様を表すプレイエフェクトデータを用いて、前記読み出された

自動演奏データを要素の変更された楽音を再生するための演奏データに変換する変換ステップと、

前記変換ステップによって変換された演奏データに応じて楽音を再生する再生ステップと、

演奏操作子の操作を表す演奏データを入力する演奏データ入力ステップと、

前記演奏データ入力ステップによって入力された演奏データに対し、前記プレイエフェクトデータを用いて、前記再生楽音の要素変更のために変換された演奏データを変換前の演奏データに戻すための逆変換処理を実行する逆変換ステップと、

前記逆変換ステップによって逆変換された演奏データを楽曲の進行に従ってメモリ装置に書き込む演奏データ書き込みステップと

を実行させるコンピュータ読み取り可能なプログラム。